

図表1-1 防災上重要な施設の立地・耐震化状況①

※今後の情報精査により修正することがあります。

**凡例**

耐震性あり	■	出張所	▲
耐震性混在	■		▲
耐震性なし	■		▲
耐震性不明	■		▲

■ 消防署・出張所  
■ 病院

緊急輸送道路にかかると橋梁 (15m以上)

● 第1次のうち直轄国道 (すべて耐震性あり)

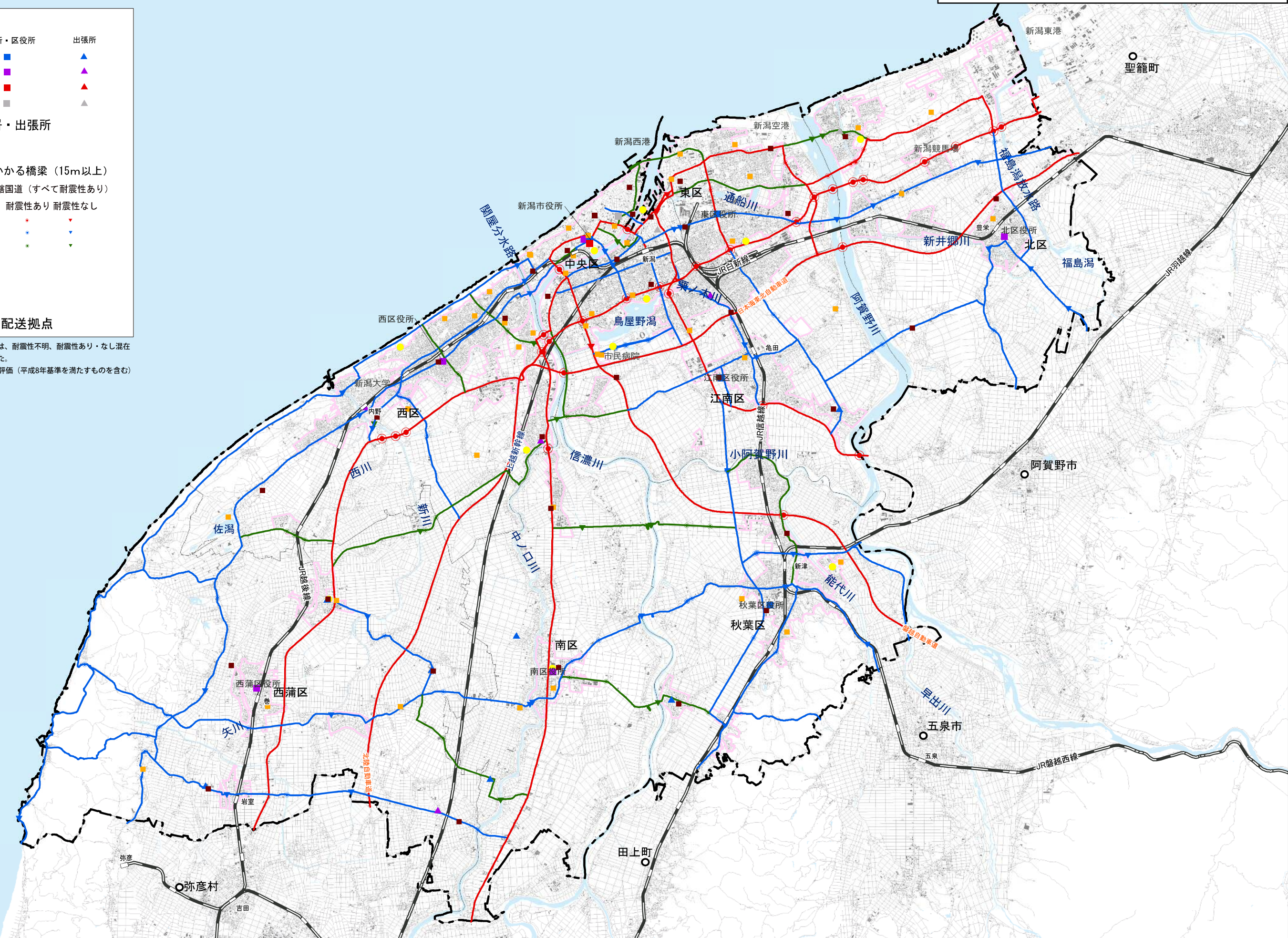
第1次路線  
第2次路線  
第3次路線

緊急輸送道路

— 第1次  
— 第2次  
— 第3次

● 集積・配送拠点

※市役所・区役所・出張所は、耐震性不明、耐震性あり・なし混在の施設は耐震性なしとした。  
※橋梁は、昭和55年基準で評価 (平成8年基準を満たすものを含む)



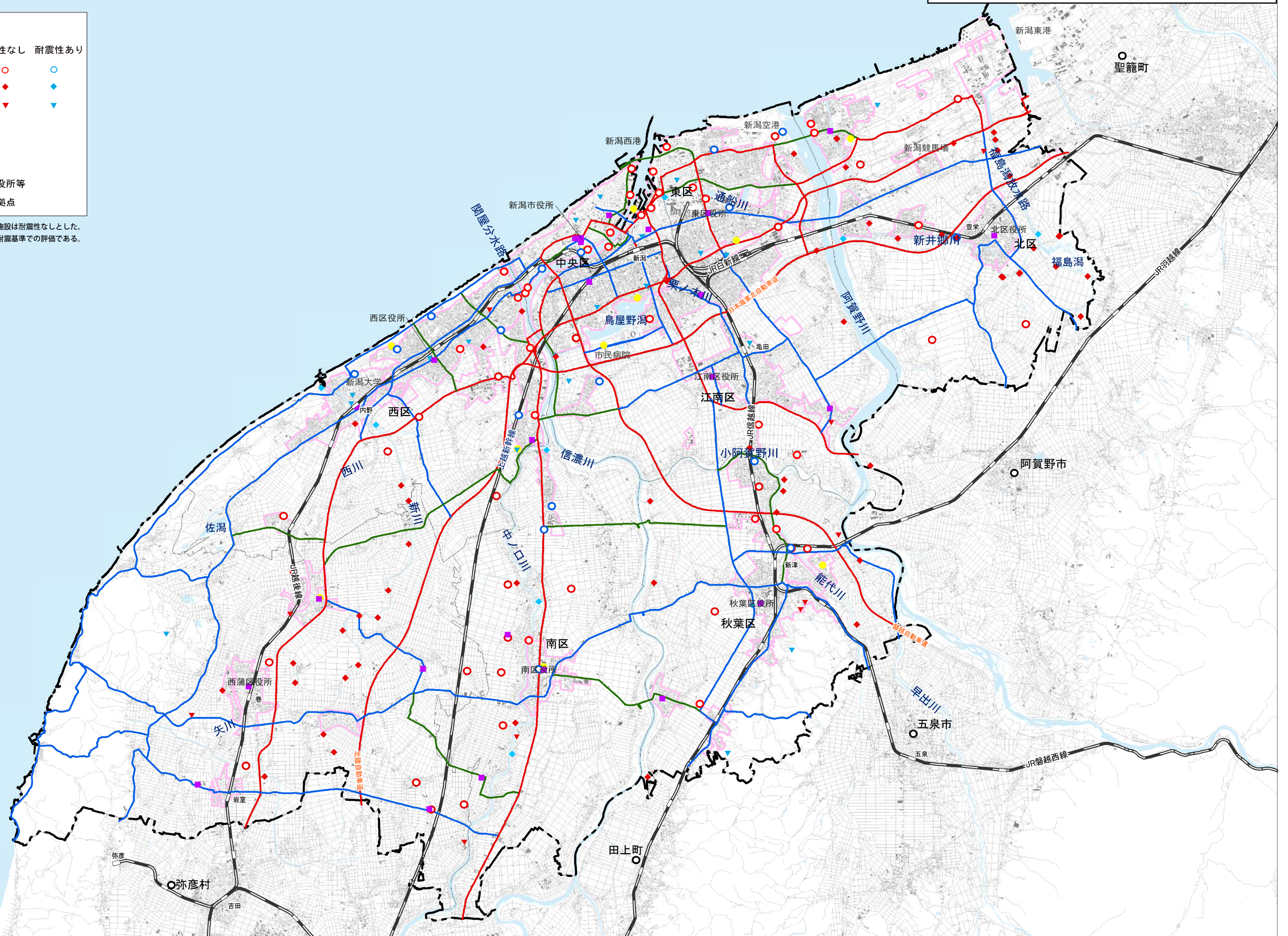
図表 1-2 防災上重要な施設の立地・耐震化状況②

※今後の情報精査により修正することがあります。

**凡例**

	耐震性なし	耐震性あり
下水道関連施設	○	○
排水機場等	◆	◆
上水道関連施設	▼	▼
緊急輸送道路		
— 第1次		
— 第2次		
— 第3次		
■ 市役所・区役所等		
● 集積・配送拠点		

※耐震診断中、耐震性不明の施設は耐震性なしとした。  
耐震性ありの市施設は、旧耐震基準での評価である。



図表 2-1 河川洪水浸水想定①

※今後の情報精査により修正することがあります。

凡例

- 市役所・区役所等    ● 避難所
- 消防署・出張所    □ 一時避難場所
- 病院    □ 広域避難場所

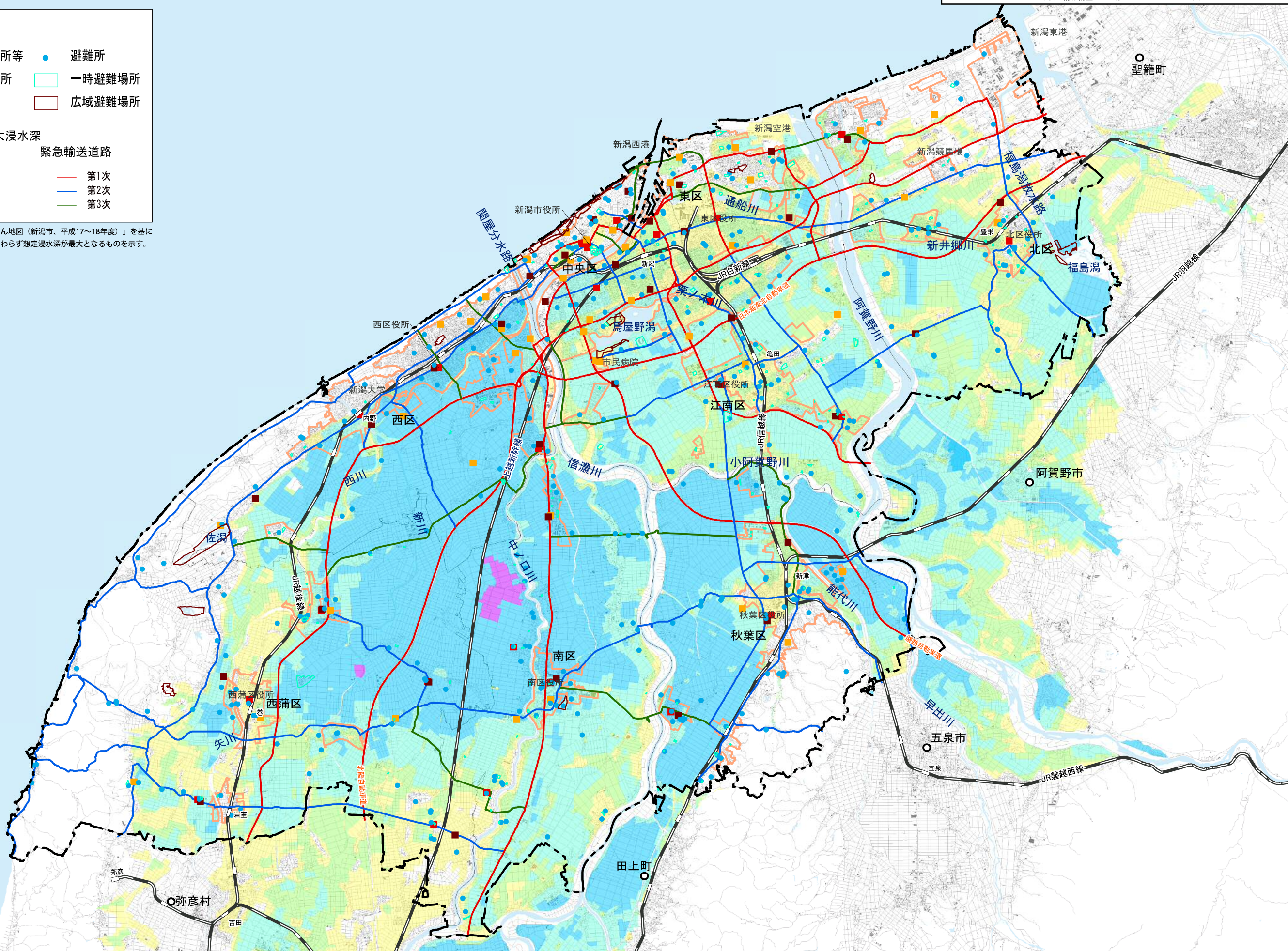
浸水想定区域\_最大浸水深

- 0.5m未満
- 0.5~1.0m
- 1.0~2.0m
- 2.0~5.0m
- 5.0m以上

緊急輸送道路

- 第1次
- 第2次
- 第3次

※本資料は、「新潟市洪水ひなん地図(新潟市、平成17~18年度)」を基に作成した。なお、河川にかかわらず想定浸水深が最大となるものを示す。



図表 2-2 河川洪水浸水想定②

※今後の情報精査により修正することがあります。

**凡例**

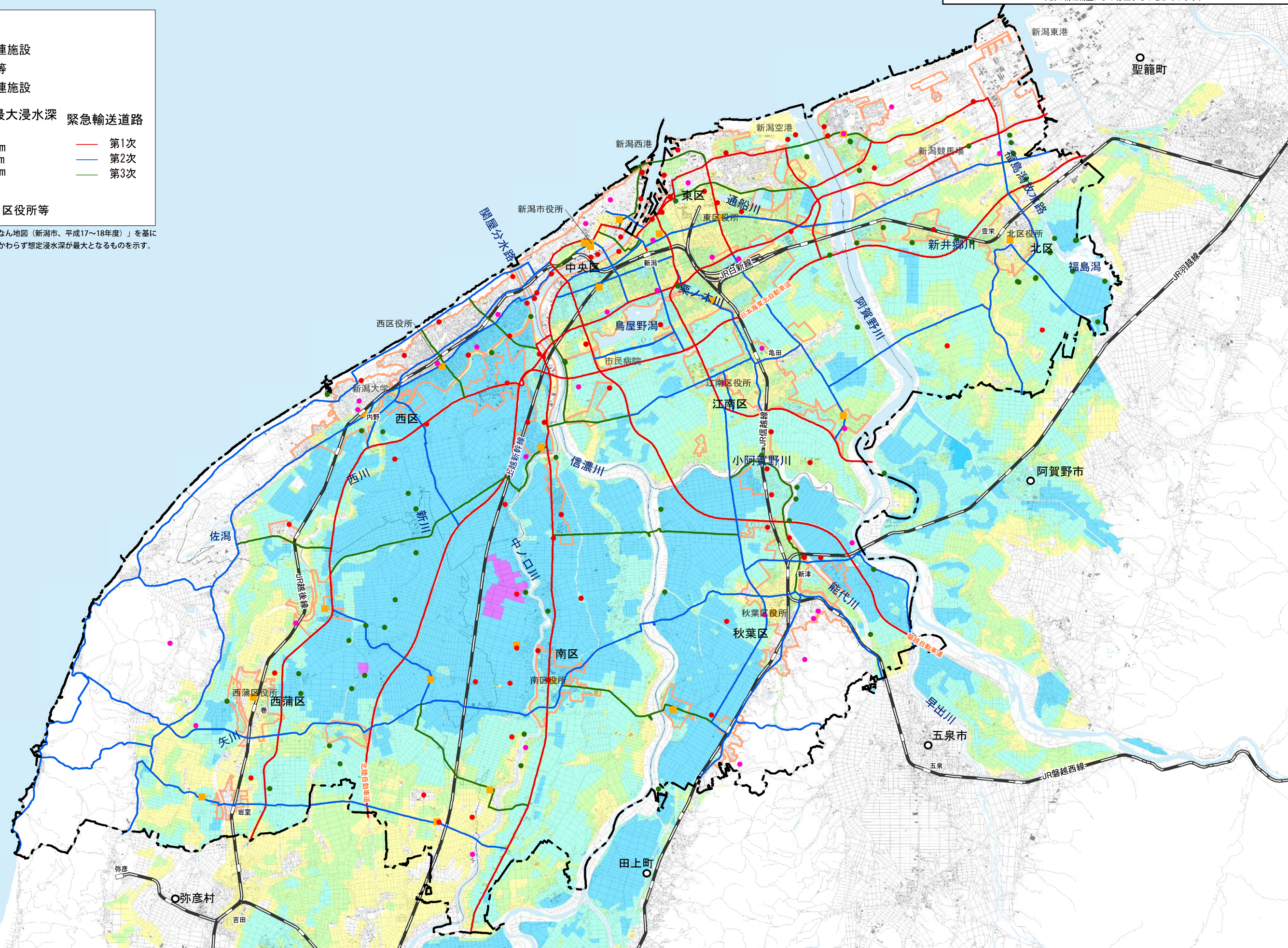
- 下水道関連施設
- 排水機場等
- 上水道関連施設

浸水想定区域\_最大浸水深

0.5m未満	緊急輸送道路 第1次
0.5~1.0m	第2次
1.0~2.0m	第3次
2.0~5.0m	
5.0m以上	

■ 市役所・区役所等

※本資料は、「新潟市洪水ひなん地図（新潟市、平成17~18年度）」を基に作成した。なお、河川にかかわらず想定浸水深が最大となるものを示す。



図表6-1 液状化のしやすさ①

※今後の情報精査により修正することがあります。

**凡例**

- 市役所・区役所等
- 消防署・出張所
- 病院
- 避難所
- 一時避難場所
- 広域避難場所

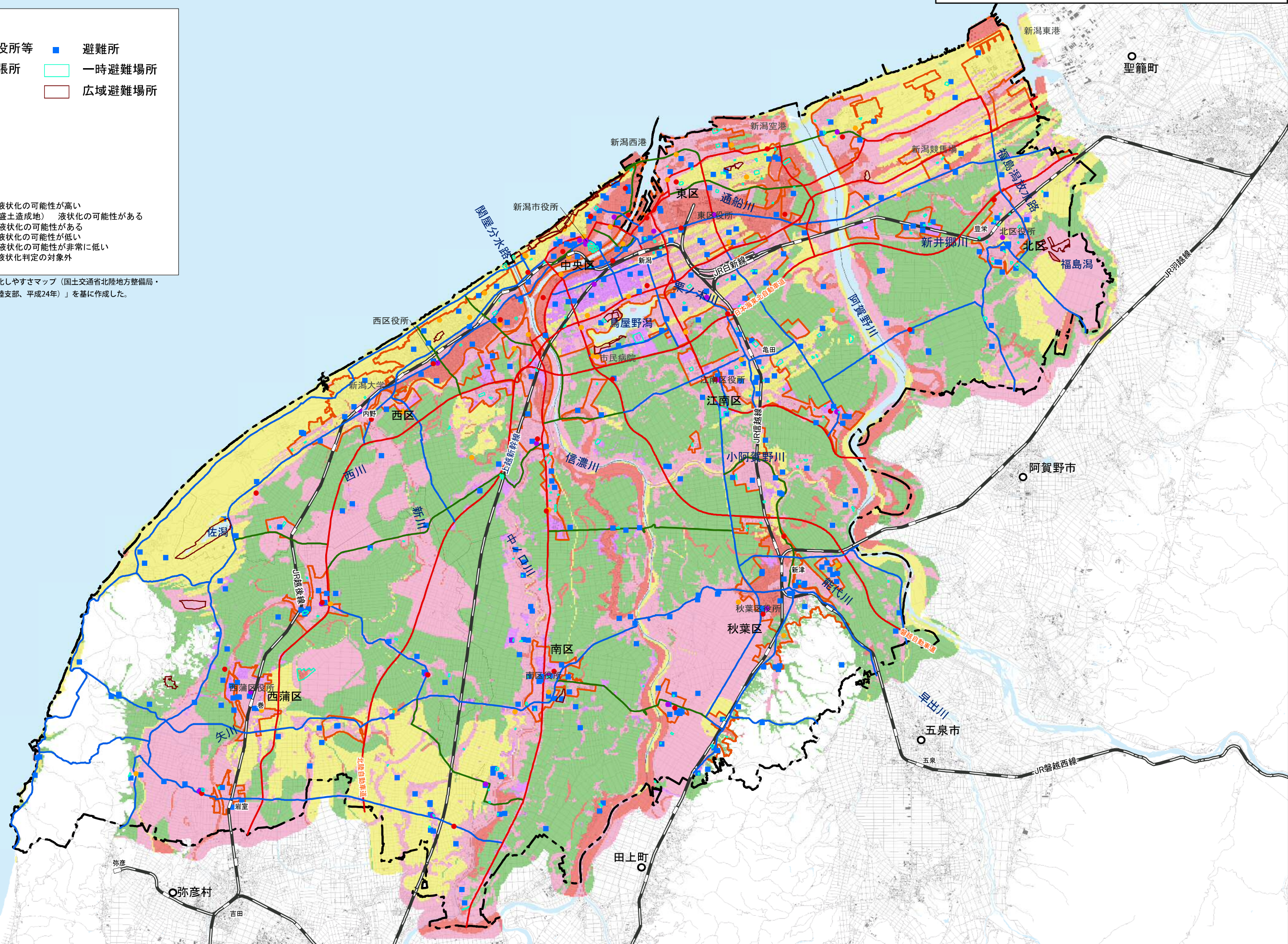
**緊急輸送道路**

- 第1次
- 第2次
- 第3次

**液状化危険度**

- 危険度 4 液状化の可能性が高い
- 危険度 3 (盛土造成地) 液状化の可能性が高い
- 危険度 3 液状化の可能性が高い
- 危険度 2 液状化の可能性が低い
- 危険度 1 液状化の可能性が非常に低い
- 危険度 0 液状化判定の対象外

※本資料は、「新潟県内液状化しやすさマップ(国土交通省北陸地方整備局・公益社団法人地盤工学会北陸支部、平成24年)」を基に作成した。



図表 6-2 液状化のしやすさ②

※今後の情報精査により修正することがあります。

凡例

- 下水道関連施設
- 排水機場等
- 上水道関連施設

緊急輸送道路

- 第1次
- 第2次
- 第3次

液状化危険度

- 危険度 4 液状化の可能性が高い
- 危険度 3 (盛土造成地) 液状化の可能性がある
- 危険度 3 液状化の可能性がある
- 危険度 2 液状化の可能性が低い
- 危険度 1 液状化の可能性が非常に低い
- 危険度 0 液状化判定の対象外

● 市役所・区役所等

※本資料は、「新潟県内液状化しやすさマップ(国土交通省北陸地方整備局・公益社団法人地盤工学会北陸支部、平成24年)」を基に作成した。

